

○先進二酸化炭素低減化船（H28年1月末現在、18隻就航）

- ・共有船の先進的な船型開発を進めるため、平成22年度に制度を創設
- ・1990年代初頭船と比較して、トンマイル当たりの二酸化炭素排出量を16%以上低減する船舶に軽減利率を適用
- ・意欲的な船型開発を行う事業者に対しては、水槽試験費用の助成も実施

竣工実績

●機構開発船型（船主／建造造船所）（竣工年月） （499GT型貨物船）

1. 山鋼丸（山中造船／山中造船）（H22.11）
2. みつひろ7（三原汽船／山中造船）（H23.3）
3. 大隆邦（中松海運／山中造船）（H23.8）
4. 千勝丸（勝丸海運／山中造船）（H23.6）
5. 太栄丸（栄吉海運／山中造船）（H25.4）



山鋼丸



千勝丸

●造船所開発船型（船主／建造造船所）（竣工年月）

○499GT型貨物船

1. 光翔丸（吉祥海運／渡邊造船所）（H23.11）
2. 第三十八三晃丸（三晃海運／徳岡造船）（H24.2）
3. 第五進康丸（泊洋汽船／中之島造船所）（H24.4）
4. 第八新江丸（新洋海運／小池造船海運）（H25.3）
5. HKL まや（兵機海運／中之島造船所）（H25.3）
6. 第二十七徳丸（松岡船舶／徳岡造船）（H25.5）

○749GT型貨物船

成秀丸（協同商船／山中造船）（H27.6）

○5,170GT型セメント船

絆洋丸（アジアパシフィックマリン・ジエネック／三浦造船所）（H26.1）

○8,600DWT型セメント船

パシフィックグローリー（中津留組／三浦造船所）（H27.6）

○6,000GT型セメント船

絆永丸（アジアパシフィックマリン・ジエネック／三浦造船所）（H27.12）

○5,000kl型白油タンカー

双信丸（邦洋海運・旭タンカー／熊本ドック）（H26.3）

○5,000kl型黒油タンカー

幸秀丸（藤井綱海運／村上秀造船所）（H26.4）

○13,000GT型カーフェリー

フェリーびざん（オーシャントランス／佐伯重工業）（H27.12）